

「立場や意図をはっきりさせながら、討論会をしよう」

～司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして、話し合うことができる～

司会がそれぞれの立場からの主張を整理し、話し合いの観点を明確にすることや、参加者が立場や意図を明確にして質問や意見を述べることに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、これらの課題を解決するために、本問を活用した指導のポイントを整理します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象にしています。

授業アイデア例

指導のポイント1 討論会の話題を分析し、自分の立場を明確にする

話題 「卒業文集は手書きがよいか、パソコンがよいか」

■双方の立場から考えることが大事です。



1 各自、手書きとパソコンのよい点と悪い点を表にまとめる。

【手書きとパソコンのよい点と悪い点をまとめた表の例】

	手書き	パソコン
よい点	・自分らしさが出る。 ・気持ちを込めることができる。 ・誰でもできる。	・字がそろってきれい。 ・すぐに書き直すことができる。
悪い点	・すぐに書き直すことができない。 ・文字に自信がない人は嫌に感じる。	・パソコンが全員分無いと取り組みにくく、できない。

2 自分の立場を決める。

私はパソコンの立場にしよう。



3 同じ立場のグループで集まり、ベン図を用いて共通点を見つける。

三人の共通点はここになるね。



指導のポイント2 司会がそれぞれの立場からの主張を整理し、話し合いの観点を明確にする

■設問一では、司会が、それぞれの立場からの主張を整理し、話し合いを進行しています。話し合いの観点を明確にするための手順や方法を示します。



ステップ1

司会は発言内容をよく聞き、考えの中心となることを捉える。

ステップ2

それぞれの立場からの主張を聞き分け、分類したり整理したりする。

司会は相手の発言内容を受け止め、それらの中心となることを心の中でつぶやきながら確認しましょう。また、メモを取ることも大切です。

ステップ3

それぞれの主張を整理し、話し合いの観点を明確に示す。

【司会の心の中のつぶやき例】



Aさんはパソコンの立場だな。その理由は、何度も簡単に書き直すことができるので作業に取り組みやすいと考えているんだな。

司会



Bさんもパソコンの立場だな。その理由は、**記念に残す**ために文字の形や大きさをそろえて読みやすくしようという考えだな。



Cさんは手書きの立場だな。その理由は、文字をそのまま残すことが**記念に残る**と考えているんだな。

観点を整理すると…



Dさんも手書きの立場だな。その理由は、自分のペースで**作業を進めることができるので、取り組みやすい**と考えているんだ。

立場は違っても、共通する観点から意見を言っている。「作業の取り組みやすさ」と「記念に残る」の2つに整理できそうかな。これらをみんなに示して話し合いを進めていこう。

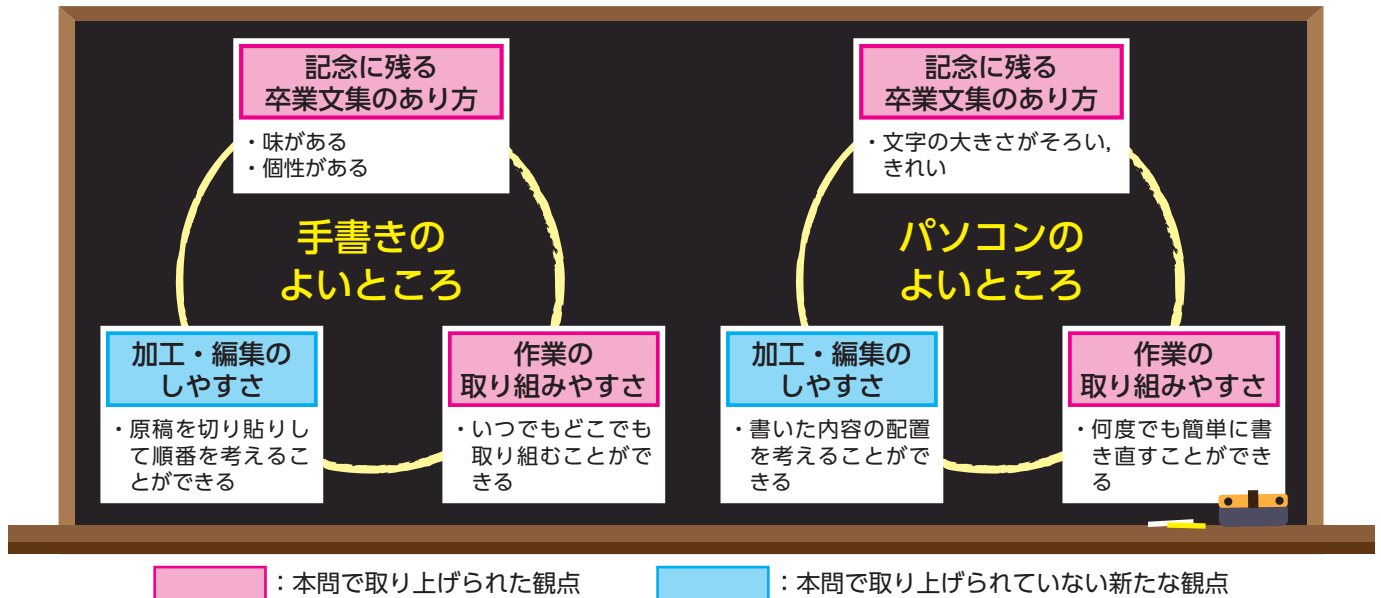
B 1 立場や意図をはっきりとさせながら討論する〈卒業文集〉

- B 1ー 正答率 **65.4%** 司会④の発言の内容をまとめて書く
 B 1二 正答率 **60.3%** 林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する
 B 1三 正答率 **28.4%** 大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を聞く

〔第5学年及び第6学年〕A エ オ
 〔第5学年及び第6学年〕B ウ

■ 司会は記録係と協力して、共通点や相違点を整理し黒板で示すことも考えられます。

【手書きとパソコンの共通点や相違点を表した図の例】



指導のポイント3 相手の意見を引用するなどして、自分の質問や意見を述べる

■ 質問や意見を述べる場合には、相手の主張を正しく引用し、それに基づいて話すことが大切です。

質問するとき

相手の主張を引用して、分からない点や分りにくい点を質問してみましょう。

賛成の意見を述べるとき

「〇〇さんが…と話したように、私も…」などと、似たような内容であっても自分なりの言葉を使って発言しましょう。

反対の意見を述べるとき

相手の立場を尊重した言葉遣いで話すことも大切にしましょう。

質問 抽象的な文言を具体化しようとする例

Aさんは、「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたね。どの部分が読みにくかったのですか。また、文字以外に読みにくいところがありましたか。

意見 根拠を明確にする例

Bさんは、「学級の半分くらいの人は、パソコンを使うことに慣れている」と言いましたね。慣れていない残りの半分の人は困ってしまい作業に取り組めないと思います。だから、私はやっぱり手書きの方がよいと思います。

本授業アイデア例 活用のポイント

- 相手の主張を踏まえて質問や意見を述べるためには、相手の言葉を的確に受け止めることが大切です。設問三では、相手の言葉をそのまま引用することを条件にしました。ただ、実際の討論や話し合いの場合においては、一言一句違わず引用しなくてもよい場合もあります。また、相手の主張の中のキーワードや一部分を用いて要約することもあります。国語科において討論会を通して育んだ能力を、各教科等や実生活の中で活用することが大切です。